

医療介護従事者向け研修会報告

聞いて・見て・触って！

「看取りのシミュレーション」

～苦手意識を克服しよう！～

10月16日（金）17日（土）、姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリアにて上記研修会を行いました。プチ講演の後、実際にシミュレーション人形や医療機器を“聞いて 見て 触って”体験していただきました。密をできるだけ避けるため、人数制限を行い、体験時は全員フェイスシールドを着けました。52名の方にご参加いただきました。



看取りまでの身体の変化について

参加者のみなさまより多数の事前質問を頂いたため、質問にお答えする内容を含めたプチ講演を行いました。

聞いて・見て・触って納得！（各ブースに分かれて体験）

シミュレーション人形



ポート

脈をとる

膀胱カテーテル



固定水を入れてみる

吸引



吸引をする

経管栄養



針を触ってみました

胃の中はこうなっている

参加者の声（抜粋）

アンケートへのご協力
ありがとうございました。

- ・どのような身体状況の変化が見られるのか、再確認でき、状況変化があれば多職種との連携をしっかりと取り、ケアが出来るよう活かしていきたいです。
- ・シミュレーションで学んだ脈の取り方、呼吸はどんな感じか、開眼の様子、音など気を付けることが分かり、今後に活かせることができると思います。
- ・吸引が必要な状態で退院予定の方がいます。吸引の知識を得たため家族支援に活かせると思います。
- ・医療処置・看取りに関して、シミュレーション（看取りまでの状態変化）で体験できたことで、より具体的に理解することができました。
- ・月単位～日単位での一般的な状況の変化について病識があまりないので大変活かせると思いました。
- ・体験型の研修で学びが多かったです。
- ・看取りの様子がよくわかりました。
- ・今回学んだことを事業所内でも共有し、利用者様・ご家族双方が納得できる選択、満足のいく最期が迎えられるよう支援していきたいと考えています。